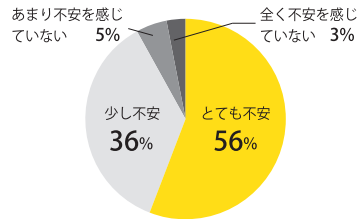


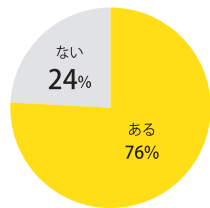
子どもたちの防災意識は—

■ 松前消防署は3月1日～15日、子どもたちの防災意識向上を目的としてアンケート調査を実施。調査対象は松前小学校、北伊予小学校、岡田小学校の4～6年生。回答者数は842人。

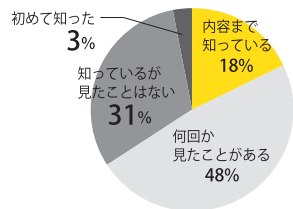
Q1 地震や台風などの自然災害に不安を感じますか？



Q2 災害について家族と話したことがありますか？



Q4 松前町の防災マップやハザードマップを見たことはありますか？



一人でも家にいるときに災害が起これば、約20%の児童が避難場所を知らないという結果に。命を守るため、早急に災害について家族で話し合うことが必要です。

調査の結果を見ると、90%以上の児童が災害に不安を感じているにも関わらず、約半数の児童が非常持ち出し品や備蓄品の準備をしていない、または分からないと回答。併せて、約30%の児童が、防災マップやハザードマップを見たことがないと回答し、不安はあるものの、家庭での災害への準備や対策がまだまだ不十分という結果に。

松前消防署は、能登半島地震をきっかけとして、町内3校の小学4～6年生を対象に「防災アンケート」を行いました（上のグラフ）。

不十分な防災対策が浮き彫りになる。今回の呼び掛けは、8月15日17時に終了しましたが、大規模地震発生の可能性がなくなったわけではありません。日頃の地震への備えは、継続して行いましょう。

▲8月23日、青葉幼稚園のイベントで設置された防災コーナーの様子。家族で新聞スリッパを作成。

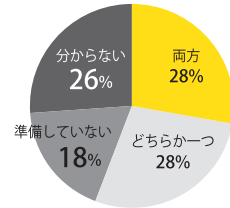
interview

8月8日の地震のときは、3人でリビングにいて、急いで机の下に隠れました。家では食べ物、水、簡易トイレなどを準備しています。夏休みや冬休みには、家族で賞味期限などを確認しています。

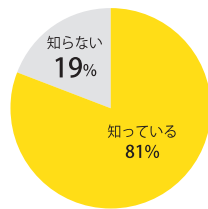


（左から）
三好紗愛さん、晴翔くん、真愛さん

Q3 非常持ち出し品・備蓄品の準備をしていますか？



Q5 家で災害が起きた場合の避難場所を知っていますか？



特集「今」やるべきこと

今日、もしかしたら明日、突然、南海トラフ地震が発生するかもしれません。あなたは大規模地震が発生したとき、どう行動しますか？命を守る準備はできていますか？今、私たちがやるべきこと。一緒に考えてみましょう。

石川県輪島市



1. 震災で倒壊した家屋。立ち入ることが「危険」と判定された赤色の判定表が掲示されている
2. 陥没した道路
3. 震災により大規模な火災が発生した輪島朝市

能登半島地震発生

令和6年1月1日16時10分ごろ、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生しました。この地震による死者（災害関連死含む）は300人を超え、全壊・半壊など被害のあった住宅は8万棟を超えています（9月13日時点）。

被災地では、被災者が住み慣れた場所に戻るよう応急仮設住宅の整備など、復興に向けての取り組みが今も進められています。

南海トラフ地震臨時情報発表

能登半島地震発生から7か月後。8月8日16時43分ごろには、日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。この地震の発生に伴い、気象庁は初めて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を発表。これは、南海トラフ沿いで大規模地震発生の可能性が相対的に高まっていると考えられたため発表されたもの。

南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が発表された場合は、国や自治体などからの呼び掛けに注意し、日頃からの備えの再確認に加え、地震が発生し

Check
できてるかな？チェックしてみよう！

- ☐ 外出時は、できるだけ行き先を伝える。
- ☐ 外出時は、ガスの元栓や施錠を確認する。
- ☐ 出入り口には物を置かない。
- ☐ 消火器具は、すぐ取り出せる場所に置く。
- ☐ 非常持ち出し袋は、すぐに持ち出せる場所に置く。
- ☐ 家族の連絡手段を共有・確認する。
- ☐ 家族の集合場所、避難場所を共有する。
- ☐ メールや SNS を活用する。

！ 防災メモを作る

災害はいつ起こるか分かりません。家族が離れた場所にいるときでも、慌てず適切に行動できるよう、日頃から家族でコミュニケーションを図っておきましょう。

「防災家族会議」で話し合った内容を防災メモに書いてみませんか。一度作ったら終わりではなく、定期的に見直すことが大切です。

※右側の点線で切り取って、裏面の非常持ち出し品リストと一緒に保管しておくくと便利です。



家の防災メモ

避難場所	
家族の集合場所	

家族や親戚などの連絡先

氏 名	電話番号	住 所	メ モ

災害時の緊急連絡

災害用伝言ダイヤル「171」

被災地域内と他の地域を結ぶ声の伝言板。「171」にダイヤルした後、ガイダンスに従って、録音は「1」、再生は「2」を押します。被災地の人の電話番号を入力すると、録音または再生されます。

災害用伝言板「web171」

家族などの安全がインターネット上で確認できます。「<https://www.web171.jp/>」にアクセス。画面の指示に従って、被災地の人の電話番号などを入力すると、文字による伝言の登録や追加登録ができます。

※ 毎月1日と15日は体験利用ができます。ぜひ体験してみましょう。

さあ、 「防災家族会議」 開催だ！



岡田小学校少年消防クラブの皆さん



切り取り

！ 防災マップを確認

町では、いつどこで発生するか分からない災害に備えて、「松前町総合防災マップ」を作成しています。津波、風水害、高潮といった災害種別ごとのハザードマップを確認できます。自宅周辺の地形や浸水想定区域を把握して、いざというときに迅速な避難ができるようにしましょう。

また、緊急連絡先や指定避難所などの一覧も載っています。自宅近くの避難所はもちろん、町内の各施設についても確認しておきましょう。



町ホームページ（下のQRコード）で、全ての防災マップを確認できます。この機会に、家族全員で確認しておきましょう。



！ 災害情報の入手方法を確認

1 松前町 LINE 公式アカウント

避難所の開設情報など、町からの情報をいち早く入手できます。メニューから町ホームページを確認するのも簡単です。

友だち追加はこちらから▶



2 全国避難所ガイド

避難所の場所や、防災無線で放送された内容などを確認できます。

3 Yahoo! 防災速報

緊急地震速報など、さまざまな災害情報をプッシュ通知でお知らせします。

2・3のアプリのダウンロードはこちらから▶



災害時の情報収集の方法は、「松前町総合防災マップ」に載っています。発令される避難情報は、どのような状態を示しているのか、どのタイミングで避難すればよいかなど事前に確認しておきましょう。

災害情報の入手先で特におすすめなのは、左の3種類。正しい情報をいち早く入手して、迅速に行動しましょう。



危機意識を持って備えを



災害ボランティア湧水代表・防災士の
神野 哲行 さん＝筒井＝

災害時、命を守るために大切なことは「けがをしないで生き抜くこと」。地震が起こったとき、倒れてきた家具などでけがをしてしまうと避難ができません。特に気を付けてほしいのは、皆さんが忘れがちなテレビ。大きな揺れが起こると、テレビは飛んできます。ベルトを使って、テレビと台をしっかり固定しましょう。

また、家族が一緒にいるときに地震が起こるとも限りません。いろいろなケースを想定して、日頃から地震が起こったときの集合場所などを家族で話し合っておきましょう。

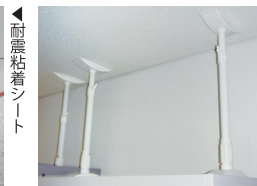
地震は、いつ起こるか分からないもの。「いざ」というときのために家庭だけでなく、地域の防災士などと一緒に地域ぐるみで備えることも大切です。危機意識を持って、みんなで一緒に備えましょう。

！ おうちの安全対策を確認



あなたの家は、地震にどのくらい耐えられますか。昭和56年5月以前に着工した木造住宅（旧耐震基準）は、大きな地震で倒壊する可能性が。住宅の耐震化は地震対策の基本です。住宅の耐震化について知りたい場合は、まちづくり課営繕係（985-4136）に相談しましょう。

室内の安全対策としては、まず、家具の配置を見直ししましょう。生活用品は、クローゼットなどに収納して、できるだけ部屋に家具を多く置かないようにしましょう。家具を置いている場合は、倒れたときに避難経路をふさがないよう配置を工夫しましょう。家具の配置に気を配るだけでなく、家具の固定もすればさらに効果的です。家具転倒防止ポールや耐震粘着シートなどで、家具が倒れないよう対策をしましょう。転倒防止器具は、一つだけで設置するのではなく、組み合わせて使用するとより大きな効果が得られます。



※ 消防署だより（19ページ）も併せて確認しましょう。
※ 町は、今後、地震による家具などの転倒を防ぎ、被害を軽減するため転倒防止器具の購入・設置費用の一部を補助する予定です。詳しくは決まり次第、広報まきさきなどでお知らせします。

親子で避難所体験！

親子防災キャンプ

避難所での生活体験を通して、防災について学びませんか。参加を希望する人は、申し込みが必要です。

詳細は、町ホームページ（右のQRコード）で確認してください。



- ▶日時 11月23日④・⑤ 14時～24日⑥ 8時
- ▶場所 松前町国体記念ホッケー公園体育館
- ▶内容 避難所開設、消火・応急担架体験、炊き出し、防災講習、夜間避難訓練 など
- ▶定員 小学生を含む親子30人程度 ※抽選
- ▶申し込み方法 町ホームページの申し込みフォームから申し込む。
- ▶締め切り 11月1日⑤
- ▶危機管理課危機管理係 ☎989-5103

1人につき準備！



！ 非常持ち出し品を常備

災害時に必要な品物は、各家庭によって違います。「ない」と困る物を優先順位をつけてリュックサックなどに入れ、持ち歩けるようにしましょう。

●食品・飲料水

- ☐ 非常用食料（乾パンやアルファ米など火を使わず食べられるもの）
- ☐ 飲料水（500mlペットボトル数本に分ける）

●応急医薬品

- ☐ 医薬品（持病のある人は常用薬）
- ☐ おくすり手帳

●衣料品

- ☐ 下着 ☐ 上着 ☐ 靴下
- ☐ 雨具 ☐ 防寒具

●応急生活用品

- ☐ 懐中電灯 ☐ 携帯ラジオ ☐ ホイッスル
- ☐ 携帯電話の充電器、予備バッテリー
- ☐ 電池 ☐ ローソク ☐ ライター
- ☐ ラップ ☐ 保温アルミブランケット
- ☐ 紙皿・紙コップ・割り箸 ☐ ヘルメット

●衛生用品

- ☐ タオル（大・小） ☐ 洗面用具
- ☐ ウエットティッシュ、ティッシュペーパー
- ☐ ビニール袋

●貴重品

- ☐ 現金（小銭） ☐ 身分証の写し

●作業用品

- ☐ 軍手 ☐ ロープ ☐ シート
- ☐ ナイフ ☐ はさみ ☐ 筆記具

●感染症対策用品

- ☐ マスク ☐ 消毒液 ☐ せっけん
- ☐ 体温計 ☐ ビニール手袋 ☐ スリッパ

【乳幼児がいる家庭】

- ☐ 粉・液体ミルク ☐ 哺乳瓶 ☐ オムツ
- ☐ おしりふき ☐ おもちゃ・絵本
- ☐ 離乳食



【女性がいる家庭】

- ☐ 生理用品 ☐ 防犯ブザー ☐ 化粧品

【要配慮者がある家庭】

- ☐ 介護用品 ☐ 補助具（メガネ・補聴器など）
- ☐ やわらかい非常食 ☐ 障がい者手帳

【ペットがいる家庭】

- ☐ ペットフード ☐ リード ☐ 迷子札
- ☐ ケージ ☐ トイレ用品 ☐ 常備薬
- ☐ お手入れ用品

※犬を飼っている人は…

- ☐ 鑑札 ☐ 狂犬病予防注射済票



【メモ】他に必要な物がなにか、話し合いましょう

備蓄品の準備もお忘れなく

目安は **7 日分**

自宅にとどまるための「備蓄品」も備えておきましょう。玄関、クローゼット、床下収納など、さまざまな場所に分けて保管することが大切です。

- ☐ 飲料水（1人あたり1日3ℓ）

- ☐ 非常用食料
- ☐ 衛生用品



トイレットペーパー、簡易トイレなど

□ 簡易暖房

使い捨てカイロなど

□ 懐中電灯

□ 携帯電話用バッテリー

□ カセットコンロ

□ 医薬品

□ その他

家族に合わせた品

少し多めに購入
ローリングストック

普段から利用している食品を少し多めに購入し、日常的に食べて、食べたら買い足しましょう。日常生活の中で簡単に備蓄できる方法です。